

夜型の動物病院開きました

診療時間が午後四時から同十時までという夜型の動物病院がこのほど守口市内にオープンした。開業したのは獣医師でアニマルライターの石井万寿美さん(三三)。会社勤めの飼い主らに好評で、市内はもとより東大阪市な

飼い主たちの愛情にこたえ

アニマルライター
獣医師の石井さん

診療はPM4:00~10:00

と遠方の患者も多い。病院は地下鉄谷町線守口駅を上がつてすぐ、国道一号線沿いにあるビルの一階。名前は「まねき猫ホスピタル」。「一度聞けば覚えてもらえる名前を」と百通り以上考えて付けたという。

石井さんは、動物好きで、北海道の酪農大学に進学。卒業後、大阪市内の動物病院で六年間働いた。動物病院の診療時間は昼間だけという所が多いため、仮病を使って会社を休み

ペットの診察を受けにくるという人が目立ち、夜間開業の病院をつくった。

それだけに、急患も多く、先日、何も食べない生後二週間の子ネコが

夜遅く持ち込まれ、治療が間に合い事なきを得たという。

診察台から見たエビツードは数知れず、昨年、経験談をまとめた「ベックト病院にいらつしやい」という本を出版。「飼いのストレスがストレー

トにベックトに及ぶ」などベックトの病気を通じて人間社会を描くエッセーなどが共感を呼び、現在、新聞や雑誌の連載を抱える売れっ子ライター。日・祝日休み。問い合わせは☎06(998)3808。

11月29日に恒例・体験会 ミニSLに乗ろう 交通科学博物館

交通科学博物館(大阪・市港区波除三)は、十一月二十九日に同館内にあ

る屋外展示場SL広場で「ミニSL体験試乗会」を行う。SLはフリーランス自由型)のB型とC型の二台。いずれも大人が十人

ほど乗れ、ミニとはいえ石炭で動く本物の蒸気機関車。午前十時三十分から午後四時まで随時運転。無料(ただし入館料大人二百六十円、子供百五十円は必要。雨天中止)。また、同日午前十一時から会場内特設売店で「北陸線有名駅弁の販売」もある。鉄道記念日特別展「歴史文化紀行・北陸本線」のイベントの一つで、富山駅の「ますのすし」(1080円)、福井駅の「越前かめし」(930円)をはじめ敦賀駅の「鯛鮓」(1130円)など五駅の駅弁を販売する。

問い合わせは同博物館 ☎06(581)5771。

その名も「まねき猫ホスピタル」の石井万寿美さん

